議　事　録

会　議　名 （審議会等名）	「（仮称）川西久代南こども園の整備・運営に係る市の方針」に関する説明会
事　務　局 （担　当　課）	こども未来部こども政策課
開　催　日　時	令和８年10月9日（金）18:05～19:40
開　催　場　所	久代会館　２階集会室
事　務　局	こども未来部長　岡本 敬子 こども未来部副部長　増田 善則 こども未来部こども政策課長　野田 忠生 教育推進部教育保育課長補佐　小林　文恵 その他こども政策課職員２名
参　加　人　数	６人
会　議　次　第	・配布資料に基づき説明 ・質疑応答

（市）
ただいまより、説明会を開催いたします。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。私は進行を務めます、こども政策課長の野田でございます。よろしくお願いいたします。
始めに、お配りしました資料は４つありますが、足りないという方がいらっしゃいましたら職員にお声掛けいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
本日の説明会は 19 時までを予定としております。途中でお手洗い等ご自由にいただけたらと思います。録音・撮影については、事務局が議事録作成のため録音いたしますが、皆様におかれましてはご遠慮いただきますようにお願いいたします。ただ、皆様のご発言につきましては、ホームページ等で公開することがありますが、その際に個人情報等に配慮し誰がどのように発言したかは分からない形で公開します。
それでは、本日の市の出席者をご紹介いたします。
（こども未来部長、こども未来部副部長、教育推進部教育保育課長補佐）
まず、こども未来部長よりご挨拶申し上げます。

（市）
改めまして、皆様こんばんは。本日は夕刻の大変お忙しい時間帯に皆様の貴重な時間を割いて、説明会にご参加いただきましてありがとうございます。また、保護者の皆様には常日頃から川西南保育所の運営に多大なご協力をいただいておりますこと、私からも改めてお礼申し上げます。
さて、本日の説明会ですが、川西南保育所と久代幼稚園の一体化計画については、前回６月 27 日に保護者の皆様へ説明会をさせていただきました。その際に、５月時点における市の方針をご説明させていただいたところです。その後、その時点での市の方針に対する実現可能性を確認するために、法人に対して追加でサウンディング調査を実施いたしました。追加サウンディング調査の結果なども踏まえて、改めて８月 17 日に市の方針を公表しております。本日は、その内容についてご説明させていただきたいと思います。
まず、市より一通りご説明をさせていただいた後に、保護者の皆様からご意見やご質問を賜りたいと思っております。私どもとしては、皆様から忌憚のないご意見をいただいて、この事業をより良いものにしていきたいと思っておりますので、ぜひ最後までよろしくお願いいたします。

（市）
それでは、本日お配りしました資料に沿い、ご説明させていただきます。
まず、右上に四角囲みで、「令和８年８月 17 日　厚生文教常任委員協議会　資料」と書かれた２枚もの資料をご覧いただけますでしょうか。（仮称）川西久代南こども園の整備・運営に係る市の方針についてという資料です。それでは１ページをご覧ください。
まず、１．経緯について、市では、第２期川西市こども・若者未来計画に基づき、久代幼稚園と川西南保育所を一体化し、民間法人の整備・運営による新たな認定こども園を令和 10 年４月に旧市営久代団地跡地に開設するという計画を進めてまいりました。その際の基本的な考え方を四角囲みに記載しています。
まず目的についてです。
目的は入所保留児の解消と、１号認定児童、具体的には久代幼稚園児の少人数での教育保育環境を解消をして、より良い環境を提供することです。この２つの目的を、古い施設ではなく、新しい施設で実

現し、市として効果的かつ効率的な手法で実施することをめざすものです。
民間移管については、公立と民間で教育保育の内容に優劣がないと評価をしていること。整備費に係る市の負担、公私の役割分担、定員拡大と質の向上を図ることに鑑み、民間化を進めるとしていたところです。
当初この計画で進めようとしておりましたが、これまでタウンミーティングや説明会等を重ねてまいりまして、保護者や地域の皆様と対話を進めてきた中で、久代幼稚園跡地に整備して欲しいという強いご要望をいただいたことから、民間事業者へのサウンディング調査を実施しました。
（2）に、令和８年４月に実施しましたサウンディング調査では、仮に令和 10 年４月に開設をめざす場合は、旧市営住宅久代団地跡地しかないという意見が大勢を占めておりました。
次のページに移ります。仮に、久代幼稚園敷地で、川西南保育所を運営しながら新しい園をつくるということにつきましては、もちろん騒音対策など一定の制約がありますが、他の自治体で同様の経験をしておられる法人がいくつか存在することも分かりました。ただ、どちらの場所で整備するにしても、昨今の物価高騰や資材不足の影響が非常に大きく、通常より長い工期が必要であるという意見が多数ありました。
続いて（3）です。サウンディング調査の結果を踏まえて、５月 20 日時点に市の総合的な判断として、現在の社会情勢下では、令和 10 年度の開設を推し進めるのは、間に合わないリスクが極めて高いと結論づけ、令和 10 年度における新施設の開設を見送ることにしました。
その結果、開設時期に猶予が生まれたため、場所は旧市営住宅久代団地跡地ではなく、久代幼稚園敷地での建て替えを第１候補に変えました。民間移管については、令和 10 年度に向けて準備を進めることとしました。また久代幼稚園児の教育保育の配慮を行うということは、市の方針として示していたところです。
続いて、この方針の実現可能性について確認するため、追加サウンディングを行いました。２ページ目の２．追加サウンディング結果についてです。川西南保育所の施設で、久代幼稚園の園児を受入れて運営するということは可能である。より円滑な民間運営への移行のために、移管前に引継ぎの期間を設けて欲しい。令和 10 年４月に民間移管することとした場合は、準備期間が短くて人材確保が難しいという意見。久代幼稚園敷地は、施設の規模に対してやや手狭であるため、保育所跡地も活用したいというご意見をいただいたところです。
続いて３．（仮称）川西久代南こども園の整備・運営に係る市の方針について、冒頭に申し上げた一体化・民間移管の基本的な考え方は維持した上で、追加サウンディング結果を踏まえた市の方針として、新設する認定こども園は、久代幼稚園敷地に整備すると決めました。開設年度は令和 12 年４月をめざすとし、運営を民間移管する時期は令和 11 年４月としております。
３ページ目をご覧ください。真ん中の表をご覧いただけますでしょうか。令和 10 年度から令和 12 年までに毎年のあり方を記載しております。
まず令和 10 年度は久代幼稚園と川西南保育所を一体化し、保育所型認定こども園として市が運営することを考えており、施設は川西南保育所を活用して幼稚園の園児たちも一緒に過ごすことになるということです。定員は、２号・３号認定 80 人と、１号認定 15 人程度で計 95 人としています。
そして令和 11 年度に認定こども園の運営を民間法人に移管します。また、令和 10 から 11 年にかけて、民間法人が幼稚園舎の解体と新設園の整備工事を行い、令和 12 年４月に久代幼稚園跡地に定員 120 から 140 人程度の幼保連携型認定こども園を開設することとしております。
最後のページをご覧ください。

民間法人の公募について、令和９年２月から５月にかけて行う予定です。案としては、申し上げたとおりですが、まず令和 11 年度に川西南保育所において保育所型認定こども園を運営します。そして、令和 10 年４月に久代幼稚園敷地に幼保連携型認定こども園を開設することとしています。また、川西南保育所閉所後、跡地の活用を提案できるとして、（３）により具体的な公募条件案の検討について記載しております。

これまでタウンミーティングや説明会などで、保護者・地域の皆様のご意見をいろいろいただいたと思いますが、今後も引き続き、保護者の皆様のご意見をお聞きしながら公募条件をつくっていき、そして公募条件案につきましては、久代幼稚園及び川西市南保育所の職員から成る検討部会により原案の作成を進めていきます。

下に、主な項目案に公募条件（例）を示しています。ただ公募条件案については、これから作成していく段階です。

続いて資料の２つ目、カラー刷りのパンフレットのような資料をご覧いただけますでしょうか。これまで説明会を多く開催してきましたが、内容について１つにまとまったものがなく、また初めてご覧になる方に分かりにくいというご意見をいただきましたので、今回このような資料を作成いたしました。

１ページ目には、私が先ほど説明した新しい認定こども園の整備に向けての施設の概要やスケジュール等の最新の情報をポイントを絞って掲載しております。資料を開いていただき、左ページにはどのような議論を経て、このような方針がなったのかという経緯等を記載しております。

続きまして、右側ページには、参考として詳しく説明すべきこととして、２点掲載しております。それが、整備・運営のコスト比較、拠点施設とはと記載しております。左側のページの一番上をご覧いただくと、先ほどご説明した一体化及び民間移管の基本的な考え方と書かれたところがありますが、◎民間移管の２つ目の点に公立は民間に比べると整備・運営に係る市の負担額が多いと書いております。また、その下のところに公立は市全体の教育保育の質向上を担う必要があると記載しておりますので、これら２つに対応する形で、右側ページの上に整備・運営コストの比較を、下に市全体の教育の質向上の取組としての拠点施設についてそれぞれ記載しております。

最後のページにこれまでの説明会やタウンミーティングでよくいただいたご意見とご質問についての回答を記載しております。例えばＱ１新たな保護者負担は発生しませんかというご質問についての回答は、民間法人を公募する際に過度な負担が生じない条件を設けたいと記載しております。

その他、計８つの質問に対して、市の回答を記載しておりますのでご覧いただけたらと思います。より詳しくお知りになりたい方は市ホームページの二次元コードを記載しておりますので、ご自宅等からご覧いただければと思います。

（市）

私から、もう少しだけご説明をさせていただけたらと思います。

本日お配りさせていただいた資料の中に、保護者説明会（Ｒ８．６.27）終了後フォーム等でいただいたご意見という資料を配付しております。前回６月の説明後に、フォームなどでいただいたご意見を掲載したものです。まだお答えができていない内容がありますので、これまでお答えできていない部分をピックアップしておりますので、冒頭で説明をさせていただけたらなと思います。

資料の２枚目の質問①について、口頭で説明をさせていただけたらと思います。民営化を進める１つの理由として、運営費が公立のほうが高いということに対する質問をいただいております。これまでの説明会等でも、こども１人当たりの 1.63 倍の運営費が掛かるということを説明しておりますが、運営

費自体の差は僅か1.16倍というご指摘です。

これは今までも説明をさせていただいておりましたが、運営に係る全ての経費です。市の負担だけではなく、国・県からの補助金、保護者からいただく保育料も含めて、全体として掛かる経費を比べると、1.16倍となっております。

次に、規模の異なる園での雑な試算ではなく、加配や減免家庭の比率など考慮されていないのではないかというご指摘と、それから地域子育て支援アップルなど、試算に何が含まれてるのかというご指摘でしたので、お答えさせていただけたらと思います。

含まれるものは、民間の運営に関しては、通常公定価格としてお支払いする給付費、保護者の方からいただく保育料、市から独自に交付している補助金全て含まれております。地域子育て支援アップルは、市立には当然含まれております。民間も、民間の認定こども園でアップルと同じ事業である地域子育て支援拠点を国庫補助事業でしておりますので、民間にも公立にも両方このお金は含まれております。

家賃の補助は、補助金として市が交付するものは含まれております。施設改修に関する補助金は市のから交付しておりません。

それから減免家庭についてもご指摘をいただいておりますが、試算にあたっては、保育料は当然、各施設によって異なってきます。ただ、保育料は仮に公立も民間も同じ額を徴収したという仮定で計算しておりますので、保育料の多い少ないで、結果的に市の負担が増えたり減ったりしませんので、そこは影響しないという形で試算をしております。

加配については、ご指摘のとおり市立のこども園と民間のこども園を比べると、市立のほうが加配の保育士を配置している比率は高いです。それは考慮せずに、計算して運営費の差が1.16倍ということになっております。ご指摘いただきまして、試算を１度してみました。

民間のこども園でも、公立並みの比率で加配の保育士を配置したと考慮すると、概ねですが、全体の運営費の差は1.1倍ということになります。この差が僅かではないのかというご指摘かと思います。

規模によって違いますが、今まで180人規模で試算をしておりますので、180人規模で考えますと、1.1倍の差であったとしても、年間で市の負担額は概算ですが2,400万円ほど差が出てしまいます。決して小さな額とは捉えておりません。

次に①－３の質問で、運営費1.16倍の差は何が要因ですかというご指摘・ご質問をいただいております。その要因の分析と是正に向けて、公立の運営方法を変えていくのでしょうかというご質問です。まずこども園・保育所の運営の経費は、人件費が概ね７割以上は占めております。その中でやはり人件費の影響が大きいと考えております。市立の認定こども園の保育士の勤続年数を見てみましても、一般的な、特に全体の統計資料を見ていましても、私立の認定こども園と比べると勤続年数がやや長いということは影響はあると考えております。

また、こども家庭庁の統計資料で、全国平均になりますが、給与月額が民間と比べると公立のほうが高い傾向にあるというところが、この1.16倍の差、加配を考慮すると1.1倍の差で、主な要因かと市としては考えております。

是正に向けてというところですが、是正というところではなくて、そういった公立の経験のある保育士の皆様には知識や経験を、民間施設も含む地域全体の教育保育の質の向上に取り組んでいただけたらと思っております。

次にもう１つ質問として、施設別入所保留児のご質問をいただいております。公立園を望んでいる入所保留児のほうが多いというご指摘かと思います。民間移管をすると、入所保留児が逆に増えるのではないかというご指摘です。確かに人数としては公立園を希望されている人の数のほうが多いです。しか

し、直近の令和８年４月の状況を見てみますと、１年前に比べると民間施設を希望する入所保留児の方も増えております。これは、新たな民間認定こども園が出来て、そこを希望される方が増えたことも一因だと思っております。

また、そういった状況もあるということと、保護者の方は公立か民間かだけではなく、通勤経路なども考慮して施設を選ばれるのではないかと考えております。

ご質問④で、南保育所の老朽化についてご質問をいただいております。これまで老朽化がずっとあったのではないかと、ここまで建て替えられなかった理由、老朽化診断についてのご質問いただいております。

これまで南保育所、久代幼稚園は定期的に建物、設備、点検を行っております。必要に応じて、修繕も行っておりました。これまで点検はしておりますが、建物本体に影響を及ぼすような大きな損傷や劣化は見られてはいません。ただ、経年劣化が進んでいると判断をしております。川西南保育所が、建物を建ててから現在 56 年ほど経過しております。久代幼稚園でしたら 57 年ほど経過しております。一般的な公共施設の標準的な耐用年数は 60 年です。

また、令和６年度に建物の評価もしております。この評価においては、両施設とも広範囲に劣化しており、安全上機能上低下の兆しがあると評価されたことが多数だったということで評価を受けております。直ちにということではないですが、今後、対応する必要があるという評価になっております。建て替えが必要な時期には来ているというのが川西市の評価でございます。

最後に、アップルについてです。アップルがどうなるのか、子育て支援拠点をどうなるのか、民間園で同様に保育士を配置して継続可能なのかというご質問です。民間法人が引き続き運営するということを公募条件に入れるということで考えております。アップルは国の補助事業名称は地域子育て支援拠点であり、国の基準に従い運営していただくことを考えております。国の基準によると常勤で職員２名配置が国の基準になっておりますので、それをしっかり守っていただいて運営していただくということになるかと思います。

私から前回の説明会でいただいた意見で、まだお答えできていなかったところをピックアップしてお答えさせていただきました。私からの説明は以上となります。

（市）

今の説明に対して何かご質問やご意見等、ある方はいらっしゃいますでしょうか。

（市民）

先ほどの話で、2,400 万円に換算されるっていうことで、確かに小さな額ではないなとは思います。大きな額やと思います。せやけども、この久代地域とか南部って呼ばれてる地域でいくと、今後、人口動向というか、もっと見たところによるとやっぱり人口が増えてってる地域やと思うんです。そういうところで若い人たちもたくさん入ってきて、そこにお金をかけても、決して無駄なお金じゃないんじゃないかなあと思って。お話を私は聞きました。今私の意見ですが、このお金の話について、いかがでしょうか。

（市民）

何かいろいろ細かく、お金のところ回答していただいたんですけど、なんでそんなにミスリードされるんですかね。180 名で、2,400 万は分かりました。南保育所の一体化は 120 から 140 ってなんで額の

大きいほうを言ってくるんですか。最初の説明でもそうですよね。1.6倍とか、その大きいほうでどんどん地域の説明であったり、保護者への説明、今まで出してると言いながら強調されるのはそういう大きい数字。乖離が激しいところ、最近出されて、こういう質問が来たから、調べられたら、若干狭まったと。

で今回の南保育所の場合はいくらなのかというのを試算されてないんですよね。

（市）

当初から、整備も運営も180名定員でモデルとしてお示ししておりましたので、一旦はそれに基づいて、違いを説明させていただくのは順番としては良いと考えたので、説明させていただたいたところです。

（市民）

順番としてはそうなんですけども、2,400万が小さくないっていう言い方をされてるときも、実際その140名は1,800万円ぐらいだと思います。なんで大きい数字で説明されてるのかなという。
今までの資料とかやり方が、ミスリードを誘う、誘ってるとしか思えなかったなっていう印象を持っています。

細かく説明していただけるんですけれども、この事業としていくらなのかが一切出てきてない。それでどうやって納得させようとしてるのか分からない。

（市）

個別というよりかは、全体を平均することで大きな傾向はつかめると考えております。当然個別に試算しようと思うと、実際いくらかかったか決算等を見てみないと出しにくいので、今出せるものとしては、こういった形の資料にはなります。ご指摘いただいた点につきましては、ミスリードというつもりはないですが、正確にご理解いただけるように工夫をしたいと思います。

（市民）

ちょっと全然違う話になるかもしれないんですけど、この前も地域の説明会を終えた後に、議員さんとか地域の方が来られてて、私も毎回ちょっと皆さんが話しやすいようにって、最初に話しさせてもらってる。意識して。であの、印象として大人しなったなって言われた。ええそんなことないですよって答えたんですけど、いや、だいぶ冷静に話してるから大人しなったなあと思うし、建設的に話されてはるんかなって思ったわってちょっと言われた。私の中では、ちょっと引っかかったというか、一番最初、本当に説明して来てくださったときっていうのは、正直、私ももう、怒りがものすごいあったんです。多分、今やったらなぜ怒ってたかっていうのは気づいてくれてると思うんです。

これだけ資料の用意してくださって、アンケートフォーム作ってくださって、そういう、やってくださってることっていうのはやっぱり、私は保護者代表としてもしっかりと連絡をとってくれてるなっていうふうに感じますし、すごく誠意というか、私たちの疑問に対して答えようっていう姿勢とってくれてるからこそ、私も今こうやって冷静に話をして、自分の気持ちとか聞いたお話とかを皆様にお伝えしようっていう気になってるから、もしかしたらその地域の人に大人しなったなあっていうふうに思われたんだなっていうふうに思うんですけど。心の中では、公募条件っていう、公募が始まるっていうところで、変なところ連れてこられても困るっていう思いから、ちゃんとやっぱりそこは意見せなあかんっ

ていう気持ちと、もう１つはやっぱり根底にある部分でいったら、公立の残してよです。そこはもう本当に保護者代表して、ここだけはもうきっちりどんなけトーンが下がろうが、怒り狂ってしゃべる場面じゃないと思ってるから私は冷静にしゃべってるだけであって、基本の気持ちとしては、公立残して欲しいっていう気持ちです。何度も言ってるんですけどね。

で、この前、何でそんな公立を残して欲しいですかって話になったときに、その特別支援の話をさせてもらったし、アップルの意見も出てきました。であの先ほどもおっきくなってる部分のお金は、みんなに還元できるようにアドバイザーのお話を聞かせてもらったそういう記憶もちゃんと残ってるんですけれども、やっぱり先ほども言ったように、地域として南部をかなり広いところで考えてはるっていうところで、本当にその久代から、久代、実際にもう民間園さんはおられて、しっかりやってくれてはる感じで、すごく評判もいい園もあって、いろいろ意見聞くところもあるんですけど、そういうところもあって、公立っていう、その１つの特色を出してるところもあるけれども、特色出し過ぎない園っていうのは、やっぱり地域には必要じゃないかなって強く思ってます。

その１つとして先日もこの地域は、その南部協のあの飛行機の問題とかもあって、自治力って言ったらいいんですかね。ちょっと表現が分からないんですけど、やっぱり昔からの人と人との繋がりの強い地域やと思います。私は川西市で生まれて市内で引っ越して、結婚して久代に来てるんですけども、やっぱりその土地のそれぞれの良さというか、特色というか、空気感っていうのもあって、でも引っ越した時なんかは、やっぱり引っ越されてきたばっかりの人たちが多い分、繋がりってそんなに自分的には感じなかったんですけど、久代のまちに来て、ものすごくその繋がりを感じます。お祭り一つにしても。すごい地域の方が応援してくれてるし、一緒にやろうっていう姿勢で待ってくれてるっていうところに、果たして今までは私はあの保育所の人間としてだけでいろいろ言ってきたんですけど、20 年 30 年先を考えた時って、やっぱり私が川西市に生まれて育ってきたように、このまちに残りたいなって。

こども 3 人いるんですけど、そういう子たちをあのまた、ここのまちで、いいまちにしていきたいっていうふうに同じように思って欲しいなっていう気持ちがあって。で、あの今回ね、その保育所の説明会があるでっていうのもちょっとポスティングさせてもらったんですけど、うちのこどもも一緒に行ったんですよね。そうしたらこどもなりにやっぱりあの保育所残したいっていう思いがあるっていうのも感じてるし、で、そのまちの中でいろんな人に声掛けてもらったりするわけですよ。そしたらまちの人から何々君って呼ばれたり、何々ちゃんって呼ばれたりして繋がりができていうのでほんまあったかいまちやなって思います。

で、最初の保育所の話からスタートしてますけど、私はもう 30 年先の川西の、この久代、川西市全体といっても過言ではないんじゃないかなと思ってます。この最近のやっぱりこの地域、それから川西市の川小であったりとか、北小とか桜とかのあの辺の発展っていうのはすごく発展してしてきてるっていうところで、川西にとってもここの地域を活性化させていくっていうのは大きなチャンスなんじゃないかなっていうふうに思ってて。私らも市役所の人間でもないんですが、地域に少しずつ溶け込みながら、自分がこの地域に何ができるのかなとか、こどもたちに対して何が残せるかなっていうのを、本当この南保育所の一件から深く考えるようになって入っていかせてもらえるようになりました。

で、そこでやっぱり思うのがいろんな選択肢があるまちの方がきっとまちとして発展するだろうなっていうふうに思いますし、今現在先日もお伝えしたようにコロナやなんやでどんどん人と人との繋がりがなくなっていったけれども、今川西南保育所では時代とは逆行してかもしれませんが、保護者会っていうのを再度立ち上がって、あの地域に溶け込もうとして、そこから地域に溶け込むプラスアルファ周

りの保育所とかも巻き込んで一緒にやっていこうっていうことを企画していっているし、徐々にそういう声も上がってっている状況なんですね。

それはもう本当まちの発展を考えた時に、すごくいい流れやなというふうに自分自身感じてます。で、地域の人も同じように、このチャンスを逃したら、この地域は衰退してしまうっていうふうに感じてくれてると思ってます。で、やっぱりその特別な事情のある家庭っていうのも、どこの園でも引き受けてくれますよっていうそのためのアドバイザーですよっていう話を先日していただいたんですが、私にはそういうふうにはやっぱり思えなくて、その１つとしては、その民間さんで特色ある教育をされている。その特色が合わないっていうところで、どうしてもあの習い事に行けない、ついて行けないとか、どうしても教育方針に合わないっていってる、いうようなこどもさんがおそらく出てくるんですよ。何名かっていうかそういう特色がないものを求める人たちのための場所っていうのは、発展を考えた時にも必要やって、やっぱりそこに辿り着くんですよね。どう考えても。で、特に溶け込めば溶け込むほど、やっていけばやっていくほど、携われば携わるほど、失ってはいけないこの社会的資源だっていうふうに感じてます。なので、やっぱり絶やすことなく継続してやっていきたいっていう保護者の思いと、また地域の一員の一面としても持ってますので、そういう思いとしてもやっぱりなくして欲しくない、ずっと継続していって欲しいという思いがずっとあります。

計画上は１年間ちょっとまあ民間さんが人が集められへんとかって言う理由によって１年間公立園として保育所をこども園に変えて、１年間やりはるっていうことなんですけど、果たしてこのカラープリントにも急激に環境が変わることもないよう、十分な引き継ぎを実施する予定ですということで、環境が変わることないって引き継ぎだけで、果たしてこの１年で急激な環境じゃないと言うことを感じさせられるのかなって考えたときにとてもじゃないけど、職員もおそらくこうちょっと毛色が変わるんちゃいますか。こども園と保育所って言ったら。おそらく変わると思うんですけどね。あのなんじゃかんじゃがちょっと詳しい話はちょっとここ分からないんですけど、そこで変わってやっと慣れたと思ったら、また民間が入ってっていう。その職員もバタつく。それが民間さんが入ってきてまた変わっていくんで、これで計画としてもあのちょっとあまりにこの１年ですごく変えてしまうっていうのがやるんやったらこども園に変えた段階で、あと３年５年なりちょっと様子見てもらってね。落ち着くまでのあの見てもらわへんかなって。なんでそのパっと変えてしまうんかなって言う思いが強いのと、あとは、先日の説明会にはおられなかった方が多分いるんですけど、こども未来部として未来のことを考えて何か提言することできないのかみたいな話も出てて、で部長が私たちはその計画に基づいてやってますっていう回答されたんですけど、今この実際第２期こども・若者未来計画が始まって進んでいく中で、これだけやっぱ変わったわけですよね。実際には計画に基づいていっていないんですよねっていうことは変えれるっていうことなんだなというふうに私は思っています。

なので、本当こうやってころっと変えてしまうんじゃなくって変えれるんであれば、もう一回本当にこの地域から公立がなくなっていいのか、川西全体を見たときにこのどんどんこどもたちが集まって来ている地域から公立をなくして大丈夫なのかどうなのかっていう。コーディネーター機能とかっていうところを他に回してっていうところもありますけども、その地域性であったりとかいろんなことを含んで、もう一度未来を考えて、こども園になるんであれば、考えて公立になろうか民間なのかも含んで、もう一回スタート地点になって欲しいなって言う願いを持ってまた今日来させてもらってます。はいそれをちょっとお話ししたいなと思いました。質問とかではないので変わりませんが今現在変わっていってるんで、変わっていってるじゃないですか。何年が何年とか計画に基づいていってるけども、変わってるって言うところでもっと変わらないのかなあって言うところでどうでしょうか。

（市）
タウンミーティングで市長が皆様に直接お答えさせていただいていると思います。市長も全て変えないと言うわけではないです。皆様から意見を聞いて柔軟に変えられるところについてはより良い方向を市としても検討していきたいと言われていました。それは私も同じです。ただ市として変えられない部分というのもあるということです。この目的のところに書いてある入所保留児、特に１・２歳児の定員の確保は早急に進めないといけないというところが私たちにはあります。
今おっしゃっていただいた、地域のつながりを大切にしてきた、地域に愛される幼稚園・保育所としてこれまで長年積み上げてきたことは、私たちもずっと過去の取り組みなども知っていますので、そのようなお言葉をいただけるということは嬉しいです。公立の積み上げてきた保育の持つその価値の尊さというところをおっしゃっていただけるということは非常にありがたいことです。ただやはり私たちは入所保留児の解消、先に言いました、施設が 60 年近くを迎えているという状況でどこかで決断しないといけないというところで、この基本的な方針については変えられないと思っています。

（市民）
タウンミーティングで、市長から２つあったと思うんですけど１つが入所保留児の解消っていうところと、もう１点は財政のことを考えたときに、今までやってきた、積み上げてきたことをみんなに還元していくことが今大事って言うところなんですけど、それはタウンミーティングで話されてたんで分かるんですけども財政の問題に関しても、先ほどの負担金額で言えば、やっぱりあのいくらかでも久代の人たちが頑張ってあの飛行機のお金も入れてるわけですし、それぐらいのお金やったら注いでもらっても何ら大きなお金じゃないんじゃないかなというふうに私個人的には感じますし、で、あのやっぱり人口のその動向、もうちょっとやっぱり見たときに、本当にそのタウンミーティングの時から市長のその思いとかその持ってはる気持ちとかっていうのも分かるんですけども、改めてちょっとこれだけ声が上がってるっていうところを受けて考えて欲しい。変えられないとこもあるっていうふうに聞いてしまうんじゃなくてそこから考えて欲しいなって思います。あの越田さんも私小学校・中学校の１個上の先輩で人柄的にはそんな何か悪い人間じゃないっていうところですごい自分のポリシーとか持ってる思いっていうのもすごいあついの持っててなかなかこれって言ったことに対して突き進んではるんやろうなっていうのはよく分かってるんですけど、ただやっぱりこれだけ地域の声、それから保護者の声っていうのがあるっていうのを受け止めていただいて、本当に久代から公立はなくなっていいのかっていうのをもう一度考えて欲しいなってお願いになってくるんですけれども、変えられないところですって言われてしまったら話もそこまでになってしまいますが、これはお願いです。はい、私からは以上です。

（市民）
お金が公立で掛かってくる部分が人件費というのをおっしゃってたんですけど、公立の先生たちがそれだけベテランの先生が多くて、経験が多いということだと思うんですけど、私立の先生たちって私立はどうしても儲けを出さないといけなかったりして、私の想像なんですけど、勤務も環境も公立と比べるとどうなのかなと思ってしまいます。私としては、やっぱり公立を残して欲しいという思いが強いんです。

（市）

ご意見ありがとうございます。人件費ですが、先ほど申しましたが、国のこども家庭庁とかの統計などを見てましても、公立の方が単価そのものが高いのかなと思います。民間だけ利益を出さないといけないということについて、当然、経営については考えられるとは思いますが、国の方からこどもの年齢と人数に応じて標準的な金額を見積もって必要な運営費を給付費として市から給付しておりますので、一定運営ができるような形で運営費はお支払いしているという仕組みになっております。

（市民）

運営費に関しては、私立の園に支払いという形だと思うんですけど、すみません、他市さんの話にはなってしまうんですけど、あの私が一緒に働くお母さんの話で、自分が通わせている市は、あの毎年こどもの担任の先生が変わるし、あの今は年長だけど、今までおってくれた先生が全然残ってなくて。あの進級の度にこどもがすごいまた先生がいなくなって嫌だっていうに泣いてるっていうふうに言ってて。そこは川西市でそうだとか、そういうことではないんですけど、私立ってそういうこともありえるんじゃないかなというところを伝えさせていただきたいです。

（市）

前回の地域説明会の時に、職員の離職率は１つ目安というか、評価する物差しになるのではないかという意見が出ました。いろいろな理由で辞められた方はいるとは思いますが、おそらく職場環境が良かったら続けていたなど、そういうこともあるかもしれないので、いろいろ状況はあると思いますが、公立も民間も学び合える環境をめざしておりますので、直接関係があるかどうか分かりませんが、保育士の皆様にとっても学び合って働ける環境は大切だと思ったところです。貴重なご意見、ありがとうございます。

（市）

貴重なご意見ありがとうございます。保育をする保育士、保育教諭は人ですので、人が何より大事ということかと思います。私たちも民間法人を公募するとき、また選定するときには法人が保育士、保育教諭という人に対して、法人としてどのような考えを持っているか。保育士が働きやすい、保育士自身が成長できるような園を作ろうとしている法人なのか、そういったところもしっかりと見極めることが大切かと思いました。

（市民）

民間園の保育士の話からのところっていうちょっと質問あるんですけども、今この追加のサウンディングでも、今から採用しないといけないよって声がある中で、どのようにその離職率であったり、要はその園がどう考えているかとか、まあその今から採用する人たちに対して、要は実績ないんですよね。その次の民間園で働く人たちの離職率なんて分からないでしょうし、そのどうやってやるのかって全く具体性がないか、必要だっていうのは分かられてると思うんですけども。

先ほどの公立民間の比較の中で、民間園が増えてきたのって、他市で公立がなくなって民間になってるのも、10 年ちょっと前から公立園か民間園になったり、こども園になったのも最近ですね、こども園の制度が始まったもの自体が 20 年ぐらいですかね。

その中で公立が 50 年、60 年ってやってる歴史と、20 年ぐらいの民間園で比べるっていうのも何かおかしいような気もしますし、どのような、そのやっていくと言いながら具体例がないかなのと。

ごめんなさい。もう１個ちょっと、その人件費のところで、民間の保育士を募集するにあたっての市が補助していると思うんですけども、それは運営費にどのように反映されるんでしょうか。比較としてされてて、で、今家賃補助３年間で 300,000 円を補助されていると思うんですけど。

（市）
運営費の中に、それも含まれてます。

（市民）
その分、民間が安く済むってことですかね。

（市）
総額で言いますと、経営として増えているということになります。そのうち、例えば、補助事業で、国から 1/2 など財源は当たりますので､その残った部分が市の負担が増えているということになります。

（市民）
民間園の、年間 10 万円ほど補助されているというものは、半分くらいは市の負担？

（市）
そうです。例えば補助率が 1/2 だったらそうです。

（市民）
先ほどおっしゃっていた、民間と市立の運営費の中でいうと、どのように扱われてるんですかね。民間園の運営費に乗っかってるから、それは市からお金もらって、民間の運営費に入っていくんですかね。

（市）
そうです。

（市民）
市の負担額としては増えてるということですよね。

（市）
そうなりますね。市の一般財源として負担する分は増えてます。

（市民）
この辺がいまいち理解できない。含まれてても、民間の方が安く済むっていう結果になる。

（市）
そういうことになります。全体の額では、その経費が占める割合というのがかなり小さいということをご理解いただけたらなと思います。

（市民）
新規園で新たに採用が多くなったら、その補助使われる人数増えますけど。

（市）
そうですね。

（市民）
予想できないんですか。何人だとか。

（市）
それで増えたとしても、大きく影響するような額ではないと思います。

（市民）
家賃6万円補助とかもそんな大した額でないということ？

（市）
基本的に保育所全体の何十人っていう保育士さんの、例えば設備管理ですとか、そういったものも含めての額になりますので、そこが少し上下しても大きな影響になる額にはならないと思います。

（市民）
そもそも何で市は民間を補助しているのか。

（市）
民間の保育所の運営を支援するというのも市の１つの役割ということです。

（市民）
補助とかもこども未来部さんが考えて補助出しましょうっていうんですか。

（市）
所管はいろいろあるので、主に保育所を建てるところまではこども未来部が担当していますが、そこから先の運営に関する毎年の運営の補助は、教育委員会でやっております。

（市）
部署は異なりますが、川西市として、そういった民間への補助は何が必要なのかということは市としての判断をしています。
基本的に先ほどもお伝えしましたように、児童福祉事業で福祉の事業になりますので、経営第一、利益第一の事業ではないということで、国の制度で運営に係る経費は一定、算定されて、公定価格という形で施設型給付がなされています。
国の制度の中で、運営に必要な費用は、基準に基づいてお支払いをしておりますが、市では、それに

加えて、市として独自の補助が必要であると判断したものについては、市の独自補助をしているということです。
　続いて今、ご質問いただいた１つ目の、追加サウンディングで、今から採用するという声もある中で、保育士、保育教諭の人的なことをどう考えているのかというご質問ですが、我々としては、新たに採用した新人さんを新設園に配置をするというよりも、できれば、経験者の方を異動して配置するということを期待しています。特に、新設園の立ち上げのときには、少なくても園長や主任、保育教諭などのキーになる先生については、十分な経験を持った方を配置していただくこともできれば公募条件に盛り込んでいきたいと思っています。
　民間ができたのはここ 10 年ぐらいじゃないかという

（市民）
　増えてきたのは。昔からあったのは知っています。

（市）
　認定こども園という制度ができたのが、平成 27、28 年（新制度 H27 施行）ではありますが、そこから、幼稚園、それから保育所を一体化した認定こども園ができてきましたけれども、その前から、幼稚園、保育所については民間の法人さんもたくさん担ってきていただいてます。
　川西市でも、北部にある大型団地が一斉にニュータウン開発が進んだときに、私立の幼稚園さんにきていただいて、こどもたちの教育保育を担っていただいたという歴史がありますので、民間さんでも十分な経験を積まれた法人さんがたくさんいらっしゃいます。

（市民）
　いろいろ話が変わって申し訳ないですが、そもそもこの計画の当初ってどう考えていたのかなっていうのが気になっておりまして、場所の問題で、今でも候補として残ってる久代団地跡地と、久代幼稚園跡地でいうと、久代幼稚園跡地が広いんですよね。面積。

（市）
　大体同じぐらいです。

（市民）
　同じくらいですかね。数字上だと若干久代幼稚園が大きい。
　その中で、サウンディングのところで、これちょっと狭いと民間園何社か狭いって書いていたですけど、そもそも、それよりも狭い久代団地でどのように整備しようとしてたのかっていうのがちょっと気になった。この計画が何か取りあえずを作っときゃいいやっていう感覚だったのか。それともこちらの人数に増えたって話なのか。さらに南保育所の跡地も使わせてくれる民間さんがある中で、そもそもなんであんな久代団地って狭い場所で最初計画されていたのか。

（市）
　広さにつきましては、1,700 平米ほどありましたので、これまで民間で建てられてる規模やどれぐらいの面積で建てられているかを見ますと、とても広いとは思っていませんが、ただ十分に建てられる面

積であると判断しております。
久代幼稚園でも手狭という意見も一部ありましたが、その１つは例えば駐車場をしっかり確保しないといけないところも含めると手狭というところもありましたし、保育所を使うとより良い環境があり、整理できるかという意見だったかなと理解をしております。

（市）
補足します。私たちは入所保留児の解消と久代幼稚園の園児の減少、この教育環境を良くしたいという思いで、まず、早急にこの環境改善する、入所保留児対策をするというところで、令和 10 年４月の開設をめざし、令和 10 年４月に新規開設をするとなると新しい場所への移転という方法しかない。
ですので、候補地を市有地を中心にいろいろ探して、私たちが考える規模のこども園が基準範囲内でできる敷地ということで旧久代団地跡地を選定したところです。
今回、社会情勢等もあって令和 10 年４月の開設は、いずれにしてもリスクを伴うので、完全に４月に開園ができるようにするために、少し延ばそうということにしました。開設時期を少し後ろにずらしたことで、現地建て替えという可能性が出てきたということです。
久代団地跡地と久代幼稚園跡地で、第一候補地は幼稚園跡地というお話がありましたが、今回、８月 17 日に公表した市の方針としては、敷地については久代幼稚園跡地を使うという方向でこの事業を進めていきたいと考えています。

（市民）
話が変わってしまうんですけど、公募条件のところで川西南保育所及び久代幼稚園の職員からこうせれる引き継ぎ検討部会を進めますっていうことですけど、これはもう話し始めてるんですか。その中で話し合って、どういう園を公募するかっていうことですか。

（市）
引き継ぎ検討会は、実際保育の内容について、南保育所がこれまで大事に培ってきた保育のことについて、どういったものを民間さんに引き継いでいただくかを中心に話し合いをしてますので、それをまとめて公募条件にしていきたいという意味でそれぞれの部会で話し合っております。

（市民）
その部会で話し合われてる内容っていうのは、私たちは分からない。

（市）
今、手元に話し合った記録がないので、詳しくお伝えすることは難しいですが、部会としては、０・１・２歳の乳児部会、３歳以上の以上児部会、インクルーシブ部会、給食部会、子育て支援部会、それぞれの部会に南保育所の先生と久代幼稚園の先生に参加をしていただいおります。内容としては、例えば乳児部会では、一場面の写真を見て、どのように声掛けをするか、この状態になるまでにどのような環境を設定をしていくかという、細かいことを話しています。
私も参加しているのが、乳児と以上児と子育て支援部会なのでその話しかできないのですが。。

（市民）

具体的な検討は、今いろいろお話されてるんだなっていうのが分かったんですけど、その内容って、こんなこと話したんですよっていうのを、こっちが聞くことできるんかなって。この場で聞いてもなかなかそういうこれだけ部会があって、何かこう、保育士さんたちが大切にしていることもそうやけど、それを受け取ってる保護者側もこれがこんなふうに家庭に活きている、繋がりが必ず出てくると思うんですけど、そういうのもあわせてやっぱり検討して欲しい。

私前から言ってるように、第２の家族、家族以上の家族で先生もこどもを共有してるんですね。いうたら、保育所の先生もよく知ってるんですけど、でもやっぱり家でこういうことがあってとか、こういうこともあってとか、言ってあげられるっていうか、そのへんの透明性があったら、私たちもこういうこと言って欲しいんですよそういう部会があるんだったら、先生、こんなところも伝えてよみたいな、そこも入っていけるんかなって。そういうふうな保護者の声ものせてほしいって。

（市）

おっしゃることは、そのとおりだと思います。どこまで公開できるかというところはありますが、できるだけ保護者の皆様の意見も、私たちがお聞きできるような形で情報提供していきたいと思います。

（市民）

そんな部会があることすら知らない保護者がほとんど。そういうふうにやってるっていうことも、ぜひ教えてほしいなと思います。

あとは、ちょっとまた話逸れてしまうんですけども、コーディネーター機能っていうところで、そういう人を増やしていきたいから、そういうところでお金掛けていきたいから、やっぱり民間に変えて増えてきた人材をそこに回したいっていう話されてるじゃないですか。民間否定するわけじゃないんですけど、近々で聞いた話で、どういうふうにするのかなって思ったんが、とあるその民間園さんですね、お絵描きの時間がありました。絵を模倣というか、先生が描いてる絵のとおり描いてくださいねっていうことで、目は黒色、鼻も何色って全部決められて、同じように描きなさいっていったのを、作品展があってたまたま保護者が見たんですって。みんな一緒の絵を描いていて、自分の子だけ目が灰色やったんですって。あれって思って先生にそれを聞いたら、あかんとは言わなかったらしいんですけど、うちの園ではみんな一緒の絵を描いて、その集団というところで、おんなじ絵を描くっていうことを学んでもらってますっていう答え方されたんですよね。

で、それも、１つ何かあるかもしれないんです。分からない。そのいいところはね。私にはちょっと分からない。私は南保育所で、絵っていうのは上手に描けるんじゃないよって、お母さん絵っていうのは会話をしてるんです。この絵はお母さん、この絵はお父さんすごく大きく描いてますよね。お父さんの存在は大きいんと違いますかとか。今日はこんな言ってますよ、言ってましたよっていうのを絵を見て感じて、何か先生たちが聞き取ってくれて悩みとか不安とかっていうのも全部絵に出てくるっていう、そういう何か描画活動にしてもらってるっていうのを教えてもらったときにすごく感動し、でもそういう園では、そういうことがありました。じゃあ、次の民間園さんにアドバイザーっていうのは、それを、うちはねってそういう描写活動っていうこういうことを大切にやってるんで、決して真似をして絵を描くことが全てじゃないですよっていうことを、コーディネーターの人たちが教えに回りました。でも、そういうのも大事やと私のほうでは思っているので、これをやりたいんですって。そういうやり方があるかもしれないけど、これはやりたいですって言ってるところに対して、川西市がその歴代積み上げてきた伝統的な保育というか、研究されて勉強されて先生方がされてきたことを、受け継げないっ

ていうふうに言われたときに、果たして受け継いでくださいって強く言えますか。引継ぎっておっしゃるけど、そこを引き継げなかったら、引き続き部会でやってもらってもどう引き継ぐねんっていう話。そもそもに、全然違う方向性がある。文字教えないでくださいって私言われたんですね。年中さんぐらいの時に。文字を教えたら赤い美味しそうなリンゴがあったら、赤い美味しそうなリンゴって書いちゃうんですよね。リンゴって書いちゃうんですって。書いたらそれでおしまいなんですよねって。創造性も膨らまへんし、お話してみたいっていう気持ちも膨らまないしってすごくそれ聞いたときすごいって思ったんですよ。そういう大切にしていることも全く違う路線で、大切にされてるものが入ってきたのに、果たして、いや、私たちは今までこうやってやってきたんだ。あなたたち今度民間さん、これやりなさいよっていう、何ていうんですか、どこまで差し迫られるんかなって考えた時に、やっぱり無理じゃないかなって思ってしまう。

だから何も特色がないっていうところで残して欲しいっていう欲しいっていう理由の１つが、その今の例にしている。じゃあコーディネーターとして回っておられるっておっしゃってましたが、その辺、どういうふうにお考えですか。

（市）

保育についてはこれまで公立で大事に積み上げてきたものがありますが、公立も決してずっと昔から今の保育をしているわけではなく、いろいろな保育を辿ってきて、今のスタイルがあるということがまず１つあります。

こどもたちも変化してきている、世の中の考え方も変わってきているという中で、保育もずっとアップデートし続けているので、今後これがずっと永遠にこの保育が続くかといえば、時代とともに変わっていく部分もあるかと思います。

民間は特色があり、うちはこれが売りですと言っているところはたくさんあります。その中で何を大事にしているか、なぜそうしているかという理念を、教育保育課として回っている中で『市立園所ではこうしています』なぜこういうふうにされているんですか、と聞きながら理念的な部分を園所に聞いています。

その中で、しっかりとした理念がないなというときには、指導員の先生から「考えがないのであれば、なぜずっとそれ続けてるのか」と、聞いています。そこから施設としてどうするか、施設長の考え方にもよるかと思いますが、（教育保育課としては）継続して伝え続けていく。「市立ではこんなふうにこどもの姿が変わっています」「公開保育するので見に来てください」という周知は、今までもしてきましたが、今後もしっかりとしていくことを、コーディネーター、アドバイザーが入ることで続けていきたいと思っています。

施設長に対して、合同施設長会議で必ず管理職協議会をとり、協議の柱に沿って協議しています。ただの意見交流ではなく、自分の考えをその場でしっかりと話し、そこで勉強したことや学んだことを施設に持ち帰ってもらうことを行っています。現場の先生方には指導員が（園所に）出向き、そこで保育を実際に見ながら、あの場面はこうだね、これはこうじゃないか、などの事後協議もしております。

「なぜそうするのか」「この場面で何でこういう声掛けをしたのか」など、しっかり勉強できるように行なっています。そのあとのフォローについて、アドバイザーが回っていく仕組みにしていきたいと思っています。

必ずしも、変わらないと決めて、関わっているわけではなく、どこかこちらがお伝えした部分を、取り入れてもらえると信じながら、お伝えしているところです。

（市民）
今せっかくそれがあるものを潰して、民間さんのところが来ることによってそれを周知していかないといけないっていうところで、やっぱり保護者は潰さんといて欲しいなっていう思いが強まってるっていうことも理解していただきたいですし、時代の流れっていうんであれば、例えば習い事とか取り入れる園所さん多いと思うんです。民間さんであれば。そこにきて特色ない、自分のこどもはその習い事できない、お金もないとかいろんな理由はあると思いますけど、できない。だから、ちょっと悪いけど、２時から帰ってねみたいなことを言う民間さんもいるわけで、泣く泣く特別な支援必要なこどもやから、うちはもう帰らせてもしょうがないって言ってはるのも聞いて、そういうときに、例えばそれを残して保育してくださいって言ったら、いや、私の園所はもう人が足りなくてそれできませんって言ったときに、いくらアドバイザーが入って、そういう子たちをもうちゃんとフォローできる体制作ってくださいよって言っても、いや、やれないって言ってしまったときに、何かこう、例えば警察と私たちやったら、ルールがあるからこれ駄目ですって言ったら切符切って、だから私たちも切符切られたら免許取られるからみたいなところあるじゃないですか。そういう川西が指導的な立場を取るっていうんであれば、それこそその指導力の強まるような、何か方法とかってないんですか。警察じゃないですけど。
次に入ってくるところに対してはやっぱりこれだけの要望が強いっていうところから、ちゃんとこう見させてもらいますよっていうので、その一般のその困ったところにコーディネーターさんが入ってどうこうっていうのももちろん分かるんですけど、ここのこの保育が好きでこれを残してくれってこれだけ声が上がってるにも関わらず、それ以外のことを放り込んでくる民間さんについては、やっぱりもっと、こっちからも物申せますよっていう権利みたいなものがあったときに、保護者も安心するっていうか、困ったときは役所に言うたら、これ前の保育所とは違うでみたいなこと言ってくれるんやなっていう、何かそこもあると思うし、方法を考えたときに、やっぱり不安やっていうのは、結局変わることに対する不安なので。やっぱり民間さんと公立、全く違うという思いはどうしてもあるんで、ないとそうなると、民間さんは儲けていけないと思うんで、やっぱり儲けが出ないとできませんやんって言うて来はったところで、いや、儲けなくてもこれをやってくださいって言ってもらえるんかなって。
儲けなくやることなんて、南保育所、挙げればきりないほどいろんなことやってくださってるんですね。本当に親以上に親になってもらって。そこの部分を、どういうふう引き継ぐっていうかやっていきはるんかなって、何の制約もないのに。課題としてお願いします。

（市）
１つ予定しているのは、以前もお伝えした３者協議会を立ち上げるということは、予定しております。民間法人さんと市と保護者の３者で、運営が始まってからも協議をしていく場をできたら設けると考えておりますので、そういった場でも協議はできるかと思います。移管するにあたって、市としても新たに設けるということで考えています。

（市民）
３者協議はずっと続いていくんですか。何年って経ってもずっと続いていくもんですか。

（市）
一定期間ということで、まだ期限は決まっておりませんが、一定の間は運営が始まってからも、続け

ていくと思ってます。

（市民）

長くなってしまうんですが、まちづくりを考えた時に、5 年 10 年してこの学び舎巣立ってった子が地域を愛してっていうふうに、私たちが取り組んでいることと、5 年 10 年先、それが言われへんくなったから、あとは好きなようにやってたらええなと思われて、どんどんかけ離れてもらっても困るなっていうところがあって、今やってる保護者の取組であったり、ちゃんと受け継いでやって欲しい。できるんかなって思うこともありますけど、受け継いでやって欲しいし、地域に出ていることもやっていって欲しいし、それほど本当に地域の集落として、できる園っていうところで、見つけていただけたらいいなと思いましたし、そういう約束をしっかり結んで欲しいなっていうのを思います。

（市）

時間も来ておりますので、そろそろ終わらせていただけたらなと思いますが、よろしいでしょうか。もし、言い足りないことがありましたら、今日お配りしている資料の二次元コードを読み取っていただいたら、そこからご意見を書き込んでいただくことができますので、そちらをご活用いただけたらと思っております。

そしたら本日は以上で終了とさせていただきます。